

前田 新作 議員（代表質問）

1 上田市長任期最後の4年目を迎えて

- (1) マニフェストの達成度を、どう判断されているのか。また、残された事業は何か。（3月議会では具体的な答弁がなかった。）
- (2) 3月議会では残されたものは、今年度中に実施するとあるが、それでも積み残しとなるものがあるのか。
- (3) マニフェストで最も重視されていた「財政危機」について、どのように判断されているのか。最近の大型事業を見ると財源があったのではないか。
- (4) 「財政危機」に対してどのように改善されたのか。条例制定だけでは改善にならない。具体的な改善内容を示されたい。繰り上げ償還等されたのか。

2 社会資本整備について

- (1) 沖田川の改修事業の完成が平成28年度では遅い。もっと早くされたい。
- (2) 国道8号の四車線化を急ぐべきではないか。特に「延槻橋」の工事を。
- (3) 公共下水道事業でいまだに事業認可されていない地域（栗山、大窪、大掛の一部など）は、今後どうなるのか。
- (4) 歩道の設置や道路の拡幅など、通学路の整備をもっと積極的にすべきではないか。6月議会で市内の通学路の安全対策の完了時期未定箇所が6カ所あると答弁されていたが、他にも安全対策を必要とする箇所がたくさんあると思うが。（東部小学校区だけでも）

3 市民交流プラザの利活用について

- (1) 市民や議会等の意見が反映されていないのではないか。

- (2) 改めて市民や議会の意見を聞いて、利活用の内容を決めてはどうか。
- (3) こども図書館として整備予定であるが、既設図書館との整合性はどうか。こども図書館は市民交流プラザに必要ない。
- (4) こども図書館や子育て支援センター等の機能を持たせるのであれば、人件費等の管理費が必要となる。
- (5) 市民交流プラザ全体の利活用も議論すべきではないか。

4 教育について

- (1) 全国学力・学習状況調査結果が発表されたが、滑川市はどのような結果であったのか。
- (2) 結果を公表しないのか。上田市長は以前には公表すべきとの考えであったと思うが。
- (3) 2学期に滑川市独自の学力到達度検査を実施されるが、具体的な内容と実施時期を示されたい。また、結果をどのように反映していかれるのか。

5 観光行政について

- (1) 氷見市や射水市との観光交流の結果はどうであったのか。また、今後継続されるのか。
- (2) 「ほたるいかミュージアム」の利用促進のために滑川市観光検討委員会が開催され、どのような提言を受けたのか。その提言をどのように生かしていかれるのか。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 中滑川駅周辺の土地利用計画について

- (1) 中滑川新駅舎建設に向けて、J Aアルプス所有の建物の一部取壊しが完了した。今後のスケジュールはどうか。
- (2) 6月定例会で提案した中滑川駅前広場周辺のコミュニティ広場・地場産野菜等の直売所設置に関して、近隣の高齢者から賛同の声も聞こえてきた。中滑川駅周辺の土地を市で買い上げるなど、前向きに進むことはできないか。
- (3) 今月4日夕方の集中豪雨でも床下浸水が発生した。この周辺の浸水状況等を考慮すれば、抜本的な対策が必要であり、地下に調整池を設置する方向で調査できないか。
- (4) まずは、市として中滑川駅周辺の土地利用計画を示すべきだと思うがどうか。
- (5) その上で、例えば、地方都市リノベーション事業(国土交通省所管)等の交付金を活用し、整備を進めていけばどうか。

2 こども図書館について

- (1) 約2年半前に策定された第4次総合計画において、市民交流プラザはどのように位置づけられているのか。
- (2) 1年前に策定された第4次滑川市総合計画実施計画にも記載のない「こども図書館」について、性急に事が運びすぎているように思うがどうか。
- (3) 隣接地に図書館があるのに、なぜ分館と位置づけてまで「こども図書館」として整備するのか。図書館法に基づく司書配置等はどうなるのか。
- (4) 市長提案理由にある様々な機能を持たせて整備するには、面積が狭すぎるように思う。社会福祉協議会事務局等の移転が必要になるが、他の公共施設の利活用状況も考慮し、事務局等の再配置を考えてはどうか。

- (5) その上で、交流プラザ2階全体を捉えて、子育て支援機能を強化し、中高生の学習・ふれあいゾーンをつくる等、十分に時間をかけて計画を練った上で、子どもたちとその親が日々交流できるフロアとして再考する余地はないのか。

石倉 正樹 議員（一般質問）

1 市有林・市行造林について問う。

- (1) 市有林4ヶ所市行造林6ヶ所の全10ヶ所と聞くと、どこにどれだけの広さと概算で何本位あるのか。また、マツなのかスギなのか。
- (2) 今後の利用をどう考えているのか。
- (3) 市有林の利用後の残された土地の利用は考えているのか。例えば再植栽とか売却とか。
- (4) 市の負担になっているのであれば、長期計画を立て減らすべきではないか。

2 滑川市開発指導要綱に基づく協議書について問う。

- (1) いつ頃つくられ、目的は何か。
- (2) 他市町にはあまり無いと言われるが、滑川市に本当に必要なのか。
- (3) すでに開発され宅地になっている土地に、必要なのか。まして都市計画区域内の用途地域指定がある場所でも必要か。
- (4) 滑川市のまちづくりの観点から、まちなかの区域を定め、まちなか住宅取得支援事業を行い、補助金制度まであるのになぜ必要なのか。
- (5) 時間の浪費とそれにかかるお金の無駄ではないのか。
- (6) 市内の宅地建物取引業者に聞いたことがあるのか。
- (7) 今後のまちづくりの観点から、開発の足かせになっているのではないか。
- (8) この制度（協議書）を見直すべきではないか。

3 災害に強いまちづくりの観点から問う。

- (1) 緊急地震速報を受信したが、市の防災行政無線が流れなかったと定例議員協議会での説明後、流れていたことは確認できたが、市行政側には伝わっていなかったことについての流れについて

- (2) 市として年に一度は、災害訓練を行うべきではないか。

森 結 議員（一般質問）

1 漁業振興事業費について

- (1) 新湊大橋のライトアップが、ホタルイカ大漁の要因か。
- (2) 新湊は5年前にもホタルイカの漁獲量が県内1位だったそうだが、何が起因と考えるか。
- (3) わずか1.5トンの漁獲量の差が、900万円も税金を使わんならんほど頭にきたか。
- (4) 私の記憶では、昔、橋場を中心に集魚灯が設置されたと思うが間違いか。
- (5) もしそうだったとすると、その効果はどうだったのか。
- (6) 県水産研究所は光に反応する習性、また、魚津水族館学芸員は反対に光を嫌う性質と全く相反する見解を示しているが、何れも研究不足、データ不足としているが滑川市の見解は。
- (7) 今回の集魚灯の設置は担当課の立案か。
- (8) もし、効果が上がれば漁協と相談して増設したいとあるが、1年で結果が出るか。もし、効果が無いと判断したら、900万円の無駄使いは誰が責任を取るのか。(毎年1位でなければならないのか。2位ではダメなのか)

2 北陸新幹線の開業にあたって

- (1) 平成26年度末に開業するが、政財界のトップは手放しで歓迎しているが市長の感想は。
- (2) 新幹線開業後の経済効果は県内で年88億円と言われているが、当市は。
- (3) 新幹線効果で早くも地価公示価格の下落率が縮小、横ばいだと言われているが、当市の地価状況はどうか。

- (4) 経済効果は富山、高岡、黒部の独占であり、新聞、テレビの報道でも新幹線絡みの話は全て富山、高岡、黒部であり、滑川はどうなるのか。
- (5) もっと冷めた見方をすれば、関東方面の観光客は富山を通過し金沢だと言う人も多くいるが、この事についての所見を問う。
- (6) 北陸新幹線工事の談合事件で開業が遅れるのでは無いかと報道されているが所見を問う。
- (7) JRから経営分離される北陸線は、第三セクター会社として運営されることになるが、市民の一番の関心事は運賃ではないかと思われる。どうなるのか。
- (8) 新幹線開通後の富山発のサンダーバードの運行はどうなるのか。
- (9) 滑川・水橋間に新駅設置を望む者もいるが、採算性を考えて県からも相手にされていないと思う。今後も新駅の設置を求めるのか。

3 三たび児童館の改築について

- (1) 児童館改築の基本設計は市長の今任期中に、つまり12月議会までに提示できるのか。
- (2) 児童館の改築は木造で、しかも、市有林、市行造林を使ってと言われるが、凄いい辺地であり木材の切り出しにコストがかかり過ぎないか。
- (3) 児童館の改築は、何が何でも新築でなければならないのか。
- (4) サン・アビの部屋数と常時どの程度利用されているか。
- (5) サン・アビが旧労働省から譲渡を受けたときの条件は。
- (6) 市長は市の財政は厳しい、危機的状況と言って市長になられたが、児童館を全面改築すれば、数億円の費用がかかると思われるがどうか。

4 市民交流プラザの嘱託職員を首にしたことについて

- (1) 私は3月議会で8人の嘱託、臨時職員に雇い止めの通告をしたと聞いていたが、間違いないか。
- (2) この解雇通告は指定管理者が文・スポから（株）ホクタテへ変わることが前提であったと思うがどうか。
- (3) 事務業務などの引き継ぎに、希望者は再雇用するとあったが間違いないか。
- (4) 指定管理者の変更は議会で否決された。その事で8人の雇用はどうなったのか。
- (5) 私はこの案件について、しつこく質問していたにもかかわらず、8月になって「市民交流プラザ・嘱託職員の雇用を守る会」のビラで3月にはすでに首になっていたことを知った。私に対して一言も話も無く大変な侮辱を受けた。首にした経緯を詳しく聞きたい。

5 市長の政治姿勢について

- (1) 市長の単独取材について
- (2) 議案が否決されてもそんなに困っていないようだが、それってどう言うこと。
- (3) この4年間財政の厳しさ、深刻さが全く感じられなかったが、本当に厳しかったのか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 学校図書と図書館専任司書について

- (1) 滑川市子ども読書活動推進計画が策定されたと聞いているが、どのような内容か。
- (2) 現在、市内各学校の蔵書数は目標に達しているか。
- (3) 現在の専任司書の勤務状況と活動内容は。
- (4) 専任司書のおられない日もある。まず、両中学校に専任司書の配属が必要では。小学校への対応は。

2 図書館の充実について

- (1) 児童図書フロアを一階に。子どものための図書館にも。
- (2) 子どもたちが両親と一緒に図書館に行く習慣を。

3 交流プラザについて

- ・ 子育て支援センターを一本に絞るべき。
 - ア あずま保育所での支援センターでは、駐車場が少ない。
 - イ 保育所の中ということで、ほかの保育園を選びにくい。(保護者の声)
 - ウ 健康センターとタイアップしやすい。
 - エ 専門性を持たせる。妊娠から出産、育児、子育て教室など市内のすべての子育ての中心に。

4 運動施設整備の中で

- (1) 東京オリンピックが決定した。滑川市は青雲閣を活用して、合宿ビジネスを展開すればどうか。
 - ア 青雲閣の耐震診断の結果はどうか。
 - イ リニューアルを行う考えは。

- ウ 各競技に対応するため体育館やグラウンドの改修を。
(ブラスバンド・マーチングバンド、女子野球・ソフトボール2面、
テニスコート)
- エ 県外チームや大学の合宿も恒例になっている。定員を増やす考えはないか。
- オ サッカー場やスポーツ健康の森公園が完成し、大きな大会が開催される事が予想される中、魚津市や富山市に宿泊している現状である事をどのように考えるか。
- (2) フットボールセンターには大型のバスを止める駐車場がない。今後どのような整備をするのか。

5 教育について

- (1) ネットやスマホに関して、子どもたちを守るため、教育委員会として今後どのように対応するのか。
- (2) 学校週6日制に賛成の上田市長の意気込みは。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 みんなでつくる協働のまち推進事業について

- ・ かつては、「地域コミュニティ活性化事業」として行われていたものが、「明るく元気なまち推進事業」になり、今年から新しく衣替えして「みんなでつくる協働のまち推進事業」になった。去年は予算がすぐに満杯になったが、今年はまだ余裕があると聞く。
 - ア 金額的にどの程度残っているのか。
 - イ 残っている原因をどうとらえているのか。
 - ウ これからの利用への推進策はあるのか。

2 実のなる樹木の植栽事業について

- ・ 平成 18 年度のこの事業は、市内の小中学校に情操教育の一環として実のなる樹木を植えて、長い年月をかけて成長させる喜び、果実を実らせる喜びを子供たちに味わってもらいたいとのことだった。そろそろ果実がなる年月になっていると思うので伺う。
 - ア 各学校で、どんな樹木を植栽したのか。
 - イ あれから 7 年、樹木は子供たちの手で大きくなっているのか。
 - ウ 果実はなっているのか。
 - エ また各学校において、その時の植栽であると表示はしているのか。
 - オ 学校全体に意識はあるのか。

3 市有林の利活用について

- ・ 先月 21 日に市有林の視察をしたが、議員全員が参加できなかったこともあり、もう一度確認したい。

その時の説明で計算すれば、市の保有する木を合計すれば総本数は 15,000 本程度になり、市としても大きな財産だと考えるが、東部小学校の多目的ホール建設に活用するとしている魚津市島尻の杉の木は県道の脇で搬出は容易だが、その他の市有林といえば搬出しようにも崖の上からとか、早月川の対岸からとか、山の奥（他人の土地を通過しなければならない）など場所的に搬出が困難と思われるが、現実的に活用できるのか疑問だがどう考えているのか。合わせて、東部小学校の多目的ホールの基本設計について問う。

4 新規採用職員について

- ・ 来年度の新規採用職員の合格発表が、先月28日に掲示されていたが、
 - ア 今年の応募者総数は何人であったか。
 - イ 応募から最終合格までどのような経過を踏むのか。
 - ウ 滑川市は採用においてどんなところを基準としているのか。
 - エ 社会人枠での採用をしているのか。
 - オ 人材は確保できたか。
 - カ ここ3年間の採用者で離職者はいるのか。

5 社会資本整備について

- (1) 一般県道栗山追分線の整備について
これは、平成22年度の県への重点事業から消えながら、平成26年度の重点事業に復活してきた。地元としては、夢の事業であり今度こそ実現に向けて推進していただきたいがどうか。
- (2) 東滑川駅の整備について
6月議会で取り上げた、東滑川駅プラットホームの屋根の増築整備について、県やJR西日本に要望していくとのことだったがその後は。

中島 勲 議員（一般質問）

・ 人口減少社会、超高齢化社会の対応策について

- (1) 自助・共助・公助についてどのように考えているのか。
- (2) コンパクト・シティについて、どのように考えているのか。
- (3) 3月議会で答弁のあった、公共施設のあり方を検討するチームの立ち上げはどうなったのか。
- (4) 今後5年間の一般会計歳入歳出の見込みでは、歳入が横ばいの中で扶助費が増え、投資的経費が減という特徴が見てとれるが、予算編成上どのような事が考えられるのか。
- (5) 福祉について
 - ア 人と人とのかかわりが前提となる“支え合いマップ”について
 - イ 社会保障制度改革国民会議の報告書にある改革が仮に実施された場合、要支援者を保険サービスから除外し市町村に委ねるとあるが、どのような事が考えられるか。
 - ウ 地域包括支援センターの役割が今以上に高まると思うが、人員配置を含め体制は万全か。
 - エ 社会福祉協議会との連携は万全か。
- (6) 安全・安心について
 - ア 運転免許証の自主返納の実態は、どのような状況か。
 - イ 消雪装置の新設を含め、生活道路の除雪対策を根本的に見直すべきではないか。
 - ウ 今後ますます増加する危険老朽家屋の対応をどう考えているのか。
 - エ 二世帯住宅建設に対する支援策を導入すべきと考えるが。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 養鶏場建設等について

- (1) 養鶏場建設反対が、平成 22 年 3 月ではなく、9 月からなのか、その半年間の対応は。そして 3 月、9 月の議会質問の当局答弁について
- (2) 平成 23 年 6 月の地元との協議の趣旨とその評価、そして地元への今後の対応について
- (3) 反対署名活動実施への経緯と今後の対応について
- (4) 排水の不純物の化学的・客観的根拠、水源地への流入、地下への浸透・蓄積の客観的根拠について
- (5) 養豚場の建設経緯と現在の規模、そして、養豚場の排水の水質とその影響について
- (6) 予定地の圃場の経緯と状況並びに今後の取り扱い、そして農業政策としての畜産・養鶏の促進について
- (7) 建設反対の本当の理由並びに建設阻止の意向、並びに地権者・住民・業者との協議の実施、納得のいく解決策について

2 北アルプス横断道路構想推進について

- (1) 北アルプス横断道路の政策課題としての是非について
- (2) 候補 3 ルートの一本化の選定への対応、並びに関係市町との連携・対応について

3 並行在来線新駅設置について

- (1) 並行在来線新駅設置の政策課題としての認識について
- (2) 候補 3 カ所の一本化の選定への対応、並びに関係地区との連携・対応に

ついて

4 小水力発電システム推進について

- (1) 小水力発電システムの政策課題としての認識について
- (2) 小水力発電開発の現状と進捗、並びに今後のかかわり、対応について

5 みのおテニス村利活用計画について

- (1) 公共施設の維持管理等検討プロジェクトチームの現状と進捗について
- (2) みのおテニス村利活用計画検討についての現状と進捗、そして今後の対応について

中川 勲 議員（一般質問）

1 安全安心のまちづくりについて

(1) 消防について

- ア 富山県東部消防組合が組織され5か月が経過したが、その効果は出たか。
- イ 署員の意識は変わったか。
- ウ 今年のこれまでの火災件数と、その原因は何か。
- エ これまでにない火災件数であるが、対策はしているのか。
- オ 消防団の活性化・消防力の向上には元気な団員の確保が必要と思うが、各分団に欠員はあるのか。
- カ 市役所職員が積極的に消防団に加入できないか。

(2) 防災について

- ア 全国的に防災意識が高まっている中、滑川市において「防災の日」を制定し、毎年その日に近い日曜日に市内一斉に各地区において防災訓練を実施すべきではないか。
- イ 家族で防災について話し合うことで防災意識の高揚を図るためにも、「家族防災の日」を制定してはどうか。
- ウ 防災行政無線のデジタル化はいつ行うのか。
- エ 豪雨対策として、市内河川の集中点検をすべきと思うが。
- オ 竜巻が発生した場合の対応はできているのか。

2 市立図書館について

- (1) 専門図書を希望されることがあると思うが、どうされるのか。また、県・各市町村とのネットワークはあるのか。
- (2) 図書館専用の駐車場は確保されているのか。

3 学校教育について

- (1) 特色ある学校づくり推進事業は、これまでどのような事業が実施されたのか、またその成果は。
- (2) 学力向上のため、学校週6日制を考えているのか。
- (3) 中学校保健体育において、武道・ダンスが必修されてから1年以上た

ったが現状はどうか。

野末 利夫 議員（一般質問）

1 市長に就任後、今日までの成果と課題について

- (1) 市長の基本方針として「子ども第一主義」、「こだわりの健康づくり」、「常に住民が真ん中にあるまちづくり」、「健全な財政の確立」など4本の柱を中心に取り組まれているが、その成果について問う。また、今後の課題は何か。
- (2) 再出馬に向けての市長の決意と公約（マニフェスト）について

2 交通安全対策について

- (1) 小学生に自転車免許証を交付し、ルール・乗り方の指導など、子供達への事故防止策の取り組みをしてはどうか。
- (2) 横断歩道があることを知らせるため、青色発光ダイオード（LED）が夜間に点滅する「発光装置付き横断歩道標識」を設置し、歩行者への事故防止対策としてはどうか、見解を問う。

3 子育て支援について

- ・ 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市内の0歳児が使うおむつを無料にしてはどうか見解を問う。

原 明 議員（一般質問）

1 ふるさと龍宮まつりについて

- (1) 各イベントへの来場者の状況と市職員の参加は。
- (2) 龍宮まつりへの来場者、街流しへ参加された皆さんの意見、感想は聞いているのか。
- (3) 今後、龍宮まつりの開催を、第3月曜日「海の日」の連休に合わせて開催していくのか。

2 防災対策について

- ・ 気象庁の発表する「特別警報」を市民へ伝える体制は。

3 雨水の排水対策について

- (1) 北陸新幹線工事の完成により、敷地内からの雨水排水は万全か。
- (2) 高架橋からの排水に油脂類などが混入し、流出の心配はないか。

4 農業の振興について

- (1) 学校給食への野菜の供給量と、滑川産野菜の利用率と品目について
- (2) 特産品目の取り組みについて
- (3) 滑川産による特産品、加工品の開発、製造、販売に向けた施設の整備について

古沢 利之 議員（一般質問）

1 国民健康保険について

- (1) 平成23年度の国保税は、一人当たりで高いほうから県内3位、一世帯当たり4位。これをどう見るか。
- (2) 国の負担割合を引き上げるよう求めてきたと思うが、結果はでているのか。
- (3) 一般会計からの繰り入れは考えないのか。
- (4) 政府は今後、国保の広域化（県域化）を予定しているが、見解は。また、これで問題は解決するのか。
 - ア 知事会の態度は。
 - イ 市の役割はどうなると見ているか。

2 介護保険について

- (1) 厚生労働省は「要支援者」への保険給付を廃止し、市町村任せにする方針を示した。対応できるのか。
- (2) 「要介護1・2」認定者を施設に入れないとも伝えられる。
- (3) 介護保険の「目的・理念」からの逸脱ではないか。国にもものを言ってもらいたい。

高木 悦子 議員（一般質問）

1 ふるさとに誇りと愛着を持てる教育を

- (1) 「ふるさと教育」を必要とする理由は何か。
- (2) 教育基本法は第2条で掲げる「教育の目標」の一つに、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」としているが、「ふるさと教育」はこの考え方に準じていると考えてよいか。
- (3) 滑川市が考える「ふるさと教育」とは、滑川市の歴史を築き上げてきた先人、滑川市の文化、滑川市の伝統に限定されているのか。富山県や日本はどうか。
- (4) 小学校や中学校の図書館、あるいは市立図書館で子供たちが自由に借りることができる書籍は、上記の教育基本法の「教育の目標」を阻害するものが無いように配慮されているか。
- (5) 松江市教育委員会で「はだしのゲン」の閲覧制限から撤回に至った一連の流れをどう判断するか。
- (6) 滑川市内の小中学校並びに市立図書館における「はだしのゲン」の設置状況・閲覧制限状況はどうか。（全10巻の内、1～4巻までと5巻以降を区分して回答いただきたい。）
- (7) 5巻以降の「はだしのゲン」は「ふるさと教育」を阻害する書籍だと考えるが、どうか。
- (8) 歴史教科書の選定は、「ふるさと教育」を推し進めるのにふさわしい教科書になっているか。

2 財政分析を基に、市の財政判断を問う

- (1) 平成24年度決算における、性質別歳出で、人件費、扶助費、公債費、投資的経費はいくらとなっているか。

- (2) 平成 21 年 9 月議会の一般質問で、当時の上田議員は「公債費比率が今の 23.1%から半分の 11%台になれば、4 億 7,000 万円ぐらい浮いてくる。だから、実質公債費比率を下げる努力はこれからも、間断のない努力を続けていただきたい。少しでも我慢する行政を続けていただかなきゃいけない。」と主張されていたが、財政計画において、来年度以降 4 年間の投資的経費の平均が、実質公債費比率が 23.1%だった平成 19 年度の半分以下なのはなぜか。
- (3) 澤田市政 16 年間の投資的経費は年平均 35 億円、中屋市政 8 年間の投資的経費は年平均 18 億円。一方公債費は澤田市政が年平均 11 億円、中屋市政が 17.6 億円。上田市政 4 年間の公債費は 4 年間の平均が 11.5 億円となっているから、スポーツ・健康の森公園や雇用促進住宅全棟取得などの投資ができたのではないのか。
- (4) 平成 26 年度から 4 年間の公債費は、年平均で 11.75 億円と見込んでいるが、平成 30 年度以降の公債費は幾らくらいになる予定か。また、増加の主な要因となる事業は何か。
- (5) 平成 10 年度の人件費は 22 億円余りであったが、24 年度は 17.6 億円程度と 20%程度の減となっている。近年は過剰な人員削減が市民サービスの低下に繋がっているのではないかという懸念があるが、見解は。
- (6) 市民には、市役所の窓口対応が頼みの綱である。プロフェッショナルの知識を持って対応しているか。

3 薬草植栽事業の検証はいかに

- (1) 平成 23 年度の市道旧国道下島線、平成 24 年度の市道柳原中村線の薬草植栽事業の目的は何か。
- (2) 薬草を植栽したことが、地域住民に認識されていると考えるか。
- (3) 住民力の低下が否めない中で、管理しやすさという観点から、事業の見直しが必要ではないか。